

京浜の森にトンボの夏がやって来た〜〜！

トンボはどこまで飛ぶかフォーラム2013 本調査

7月29日(月)～8月4日(日)の9時～12時、トンボはどこまで飛ぶかフォーラムの本調査が行なわれます。この調査は今年で11年目(11回目)で、JFEトンボみちでの調査は7月29日(月)～7月31日(水)に行われます。

トンボの生態は自然の豊かさを示す指標とされていますが、JFEトンボみちで多くの種類や個体数の捕獲・確認が出来ると良いですね。

昨年の調査の様子



近所の子どもたちも応援してくれました

昨年の調査実績(3日間で)

シオカラトンボ	43頭
ショウジョウトンボ	20頭
ウスバキトンボ	5頭
マルタンヤンマ	1頭
オオシオカラトンボ	1頭
ギンヤンマ	1頭
チョウトンボ	1頭
トンボみちで合計	72頭



JFEトンボみちで初めて捕獲された「マルタンヤンマ」(雌)(昨年8月6日)

「トンボとい大作戦2013」のお知らせ

日時:8月17日(土) 9:00～11:00
(雨天は18日(日))

場所:入船公園(公園管理事務所前集合)

対象:小学生・中学生

参加費:300円(捕虫網・保険など)

主催:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

残そう！ハッチョウトンボの里 参加報告:トンボみちファンクラブ 柴田代表

6月29～30日、長野県駒ヶ根市で開催された「第24回全国トンボ市民サミット」について報告します。大会のテーマは、「日本一小さいトンボの保護と小さな命の大切さ 駒ヶ根市の昆虫ハッチョウトンボ！」です。

1日目は、ハッチョウトンボの生息地見学。この日は天候にも恵まれ一円玉サイズのハッチョウトンボが湿地の草で翅を休めています。オス、メスともに相当な数です。前日は160頭ほどいたとのこと。地元「ハッチョウトンボを育む会」の皆さんが、生態研究をもとに、生息環境整備を毎年行ない生息個体数を増やしてきたそうです。とにかく小さくて可愛いの一と言です。

夜は駒ヶ根市長も加わり交流会が行なわれ、それぞれの活動紹介等で盛り上がりました。

2日目は、市の文化会館で基調報告「ハッチョウトンボの保護活動」、事例発表「学校ビオトープ」(千葉県船橋柴山高校)などが行なわれ、来年の大会会場となる三重県御在所岳へ大会旗が引き継がれたのち、閉会となりました。日本全国から集まってきたトンボと自然環境を愛する人々の輪が、今後さらに広がっていくことを願わずにいられません。来年の開催日は7月26日(土)～27日(日)です。皆さんも参加してみませんか！

生息地見学の様子



育樹のつどい(京浜の森づくり)

6月16日(日)、末広水際線フロムナードにおいて、末広地区地域緑のまちづくり協議会主催による「育樹のつどい」が開催されました。



生憎の小雨模様ではありましたが、近隣企業や横浜市関係者、鶴見区役所およびトンボみちファンクラブメンバーなど46名が集まりました。開会式のあと、緑地の見学を行い、



下草刈りなどの必要性や、作業のやり方の説明を受けたあと、作業区画単位のグループに分かれて作業を行いました。(記:相馬)

「かりゆし」で省エネしてます

JFEエンジニアリングでは、7月から9月までの3ヶ月間、クールビズの一環として、沖縄県の夏用衣料「かりゆし」を着用しています。



対象は横浜、東京および名古屋支店、以西の各支店のオフィス勤務者で社員約2500人、グループ会社社員約500人です。

「かりゆし」は見た目も涼しく、着心地が良く、リラクセスできます。今年の夏は「かりゆし」で省エネに取り組みます。

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

6月22日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田裕子さん)



トンボみち入口の草取り



ジャガイモの収穫



トンボみちで捕れた野菜で舌鼓



西瓜(スイカ)の苗植え



スイカ

カナヘビ

スイカの花



ファンクラブのみなさん

これからの活動予定です。雨天は1週間延期
 今月: 7月27日(土) 7時~ 9時
 来月: 8月24日(土) 7時~ 9時
 事前の申込みはいりません。誰でも参加可能。

発行日: 2013年 7月23日
 発行者: トンボみちファンクラブ事務局
 事務局: 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
 JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室
 Tel045-505-7447, Fax045-505-6546
 ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



京浜の森ロゴマーク

ファンクラブ通信に使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率100%です。